

## 2021年度助成分

●2021年度に野村財団の奨学研究員助成を受けて、東京大学大学院法学政治学研究科が行った活動は以下の通りである。

①研究者：劉道（東京大学大学院法学政治学研究科・博士課程3年）

滞在期間：2017年4月1日～2022年3月31日

研究課題名：現代中国における地方ガバナンスの機構と調整

－政府による公共財の供給と政権の正統性に関する認識に着目して－

②研究者：高逸薫（東京大学大学院法学政治学研究科・博士課程3年）

滞在期間：2018年4月1日～2022年3月31日

研究課題名：株主代表訴訟における株主以外の主体（弁護士又はファンド等）に対する提訴への金銭的なインセンティブ付与の必要性と方法について

●2021年度に野村財団の奨学研究員助成を受けて、東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターが行った活動は以下の通りである。

①研究者：Maria Martin-Rodriguez（名古屋大学大学院経済学研究科・特任講師）

滞在期間：2021年4月4日～2021年4月10日

研究課題名：Piracy, Information Economics, Networks

②研究者：青柳潤（University of California, Berkeleyで博士号を取得後、Department of Finance, Hong Kong University of Science and Technology (HKUST) 着任迄の間に来訪）

滞在期間：2021年5月18日～2021年7月15日

研究課題名：Market Microstructure, High-Frequency Trading, and Liquidity on Decentralized Exchanges

③研究者：内田交謹（九州大学経済学研究院・教授）

滞在期間：2021年11月4日～2021年11月6日

研究課題名：日本におけるコーポレート・ガバナンス

④研究者：松田一茂（神戸大学大学院経済学研究科・講師）

滞在期間：2021年11月9日～2021年11月13日

研究課題名：Wage inequality and education policy

⑤研究者：今喜史（宇都宮共和大学・専任講師）

滞在期間：2022年2月8日～2022年2月18日

研究課題名：教育投資と国際資本移動が賃金格差に与える影響に関する理論研究